特定非営利活動法人　シニアエキスパートフォーラム

臨時理事会議事録

開催日時　平成１５年２月２６日（水）　１３時３０分～１６時
開催場所　品川第一区民集会所
出席者（敬称略）
理事―柏木　寛、村瀬　禎男、古川　弘康、新家　彦司、玉木　悠二、黒山　昭宣
濱　宏純、小泉　鐵夫、八田　道郎、樫田　耕一
監事―安藤　巖、網戸　孝史

開会（１３時３０分）
１、出席者の確認
上記通り。

２、議事録署名人の確認
新家彦司、黒山昭宣両理事を指名。

３、理事長挨拶
本日の臨時理事会は第８回理事会における監事提言に対して理事会としての意見を纏めるのが主目的である。

４、審議事項―「第８回理事会における監事提言に対する見解と討議」
議長よりの指名で村瀬副理事長の司会で討議を進めた。
（１）監事より再度主旨説明（安藤監事）
ＳＥＦの現状では個別事業計画が進み出しているが、それに並行して事業遂行の為の基盤整備を急ぐ必要がる。
その中で特に重要で現時点で理事全体の合意が必要と思われる次の二点を指摘した。
①事業遂行に伴うリスクの負担方法
②運転資金の調達方法

（２）監事意見書の内容確認と見解・討議（村瀬副理事司会）
①事業計画と基盤整備をシリアルで無くパラレルに進めるべきことは監事指摘通りである。―全員同意
②事業遂行に伴うリスクの負担は原則理事の連帯責任である。ＮＰＯ法のベースにある民法に規定されている。―司会の説明で同意
③その際に負担すべきリスクの大きさと回避方法をどう見るか。―大きく二つに意見が分

かれた。

（意見１）ＳＥＦの計画中の事業内容では請負型を回避しリスクの小さなコンサルティング型を指向しており、且つ契約でもって個別事業のリスクは殆ど回避出来る。
リスク最小の努力をしても万一損失が発生した場合は連帯責任を採らざるを得ず
その処置は関連する法律に則る。

（意見２）リスクの大きさは予測出来ない程大きくなる可能性があり、理事の一員として負担に耐えない。

（３）ここで監事から討議の中断と各人の態度表明を求める動議がなされ、各人が理事としてリスク負担を受入するのか否か態度表明を行った。

リスク負担を非とする理事、監事

玉木悠二、濱宏純、八田道郎、樫田耕一、安藤巖、網戸孝史

リスク負担を是とする理事

村瀬禎男、古川弘康、新家彦司、黒山昭宣、小泉鉄夫

（４）リスク負担を非とする理事、監事の一部からは役員辞任の意向の発言もあり本日はここで議論は打ち切りとして次回理事会で今後の運営の話合いを行うこととした。

５、理事長発言

マルチカルチャーであるＮＰＯの運営の難しさを実感した。

閉会（１６時）

上記議事の経過と要旨を明確にする為に議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名捺印する。

シニアエキスパートフォーラム　臨時理事会

平成１５年２月２６日

議　長　　印

署名人　　印

署名人　　印